

体験！発見！ジオパーク(夏編)

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

室戸ユネスコ世界ジオパークを構成している自然や文化、産業について学ぶ体験活動を通して、大地の誕生や生命の営みについての興味・関心を高める。

○ 実施期間

平成30年8月28日(火)～平成30年8月30日(木) 2泊3日

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

小学4年生から6年生までの児童 27名/30名

○ 活動プログラム

9月28日[火]	9月29日[水]	9月30日[木]
10:00 高知市内迎え 海部郡迎え	6:00 起床・洗面・清掃	6:00 起床・洗面・清掃
12:00 奈半利町海浜センター着	7:15 朝のつどい 朝食【食堂】	7:15 朝のつどい 朝食【食堂】
12:10 開講式	8:20 自然の家発	8:45 退所点検
12:20 昼食【弁当】	8:50 海浜活動センター着	9:30 自然の家発
13:00 カヤック (奈半利町海浜センター)	9:00 スノーケリング(新港北)	10:00 慎太郎像前着 岬探勝(室戸岬)
16:00 奈半利町海浜センター発	12:00 昼食【弁当】	11:45 慎太郎像前発
17:00 自然の家着 オリエンテーション	13:00 海浜活動センター発	12:00 とろむ着 昼食【弁当】
17:30 タベのつどい 夕食【食堂】 荷物の移動 自由時間	13:15 磯観察(坂本海岸)	12:45 閉講式
19:00 入浴	16:00 海浜活動センター発	13:00 とろむ発 高知市内送り 海部郡送り
21:45 就寝	16:30 自然の家着	
	17:30 タベのつどい 夕食【食堂】	
	19:00 入浴	
	21:45 就寝	

2. 活動の様子

<1日目>

開講式後、奈半利町海浜センターの指導員の方に協力していただき、カヤックの活動を行った。まず、2人組のバディを決め、カヤックを運び出す準備から始まった。参加者同士で協力して準備をすることで、十分な活動時間を確保することができた。今回は、箱眼鏡を使って小魚やサンゴをカヤックから覗いた。前日の



天気の影響で少し濁りはあったものの、ポイントまで移動すると美しいサンゴを観察することができた。休憩をはさみ、後半は2つのグループに分かれて活動を行った。余力のあるチームは、堤防の外を大きく回り、さらにカヤックの活動を楽しんだ。他のチームは、堤防の内側でパドルの使い方を学んだり、箱眼鏡を使って海の生き物を観察したりして楽しんだ。夜は班会で、一日の振り返りをするすることで、仲間との絆を深めることができた。

<2日目>

午前中は、室戸岬新港のとろむでスノーケリング活動を行った。まず、海浜活動センターで基本的なスノーケルの使い方を学び、活動場所であるとろむへと移動した。バディと一緒に海に入り、とろむ港内にいる魚やサンゴなどの様々な生き物を観察した。普段、見ることができない生き物を目の当たりにして、驚きを隠せない様子であった。午後は、坂本海岸で磯観察を行った。班ごとに網や水槽を持ち、タイドプールにいる磯の生き物を観察したり、捕まえたりした。仲間と協力して、大きな魚や蟹を捕まえている班も多く見られた。捕まえた魚は室戸の自然の家にある「ミニ水族館」で飼うことにしたが、所に戻ってから多くの参加者が、興味をもって観察している様子が印象的であった。



<3日目>

最終日は、室戸世界ジオパークセンターの専門員に来ていただき、岬探勝を行った。海岸では、班対抗の石集めゲームを行い、砂岩や泥岩などの岩石のつくりについて学んだ。また、タービダイト層の成り立ちについて、専門員の話の聞いたり、モデルを見たりして学習した。参加者の中には、積極的に質問する児童も多く見られ、興味をもって活動できていると感じた。小学生にとって、少し難しい内容もあったが、どの参加者も一生懸命話を聞き、ジオパークについて理解を深めることができた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・磯観察で、エビや魚をたくさん取ることができた。
- ・カヤックでは、バディと協力して漕ぐことができた。
- ・初めて参加したけど、すぐに友達ができよかった。サンゴがとてもきれいだった。
- ・スノーケリングがとても楽しかった。フグを見れたのもよかった。

○ 事業の成果

- ・カヤックやスノーケルなどの体験活動を通して、海にいる生き物や自然により興味・関心をもつことができるようになった。
- ・海の活動に必要な道具の使い方を正しく学び、活用することができた。
- ・岬探勝を通して、室戸世界ジオパークについて学び、岩石のつくりや成り立ちについて理解を深めることができた。
- ・班での活動を通して、仲間と協力し、助け合うことの大切さを学ぶことができた。

○ 事業の課題

- ・熱中症対策を確実にいき、水分補給を適宜行えるように、準備する必要がある。
- ・指導員の方に協力いただく場合、入念に打合せを行い、活動をより効果的なものにしていく必要がある。
- ・今回の岬探勝では、ジオパークセンターの専門員の方に指導していただいた。今後、他の事業でも積極的に連携し、室戸世界ジオパークへの興味・関心を高めていく必要がある。